

令和7年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立久喜工業高等学校)

目指す学校像	「ものづくり」や「体験」を通して「技術」・「学力」を身につけ、地域の信頼と期待に応え社会の変化に対応できる人材を育成する学校
--------	--

重点目標	1 個に応じた学力と技術の向上を推進する。 授業内容・指導方法の充実を図る。資格取得等を奨励する。 2 基本的な生活習慣を確立し、規律ある生徒を育成する。 欠席、遅刻、早退の減少を図る。服装・頭髪・挨拶の指導を徹底する。 3 一人一人の進路希望を実現する。 生徒の職業観や勤労観を育成するとともに、進路希望に応じたきめ細やかな指導を行う。 4 地域の信頼と期待に応える開かれた学校づくりを推進する。 中学生やその保護者及び地域に積極的な情報提供を行う。地域行事等へ参加し地域連携を行う。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
年 度	学 校 標	年 度 評 価	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策		
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標			
1	【現状】 意欲的に授業を受けている生徒が多く、教員も授業改善を重ねている。基礎基本を重視するとともに、専門知識の定着や高度な技術の取得にも力を入れている。 【課題】 生徒の更なる学習意欲を高めるため、教員のICT活用を含めた授業力向上が必要である。資格取得等においても、多くの生徒が積極的に挑戦できる機会を増やすことが重要である。	生きる力と確かな学力の定着と組織的な教育力の向上	①「主体的・対話的で深い学び」の授業実践と授業研究を行い、教員の授業力向上を図り、生徒に興味・関心を持たせる授業を实践する。 ②ICTを活用した効果的な授業を展開する。	①生徒アンケートにおいて、「久喜工高の先生はわかりやすい授業の実施や、興味・関心を高める工夫をしている」と回答する生徒の割合が90%以上か。 ②各教科において、ICTを効果的に活用できたか。			
		自ら挑戦する生徒の育成	①意欲的に授業に参加する生徒や多くの資格取得に挑戦する好奇心豊かな生徒を育成する。	①生徒アンケートにおいて、「私は、授業の内容に興味・関心がある」と回答する生徒の割合が80%以上か。			
2	【現状】 多くの生徒が、基本的な生活習慣が身に付いており、落ち着いた学校生活を送っている。日頃から継続的な挨拶指導や身だしなみ指導等により、問題行動も減少しつつある。 【課題】 遅刻を繰り返す生徒が増加しており、効果的な指導が必要である。生徒に規範意識を育む指導を更に学校全体で取り組む必要がある。	規範意識の向上と主体性の育成	①登下校指導、挨拶指導、巡回指導を年間10週以上実施する。 ②身だしなみ指導を年間5回以上実施する。 ③生徒指導部を中心に、丁寧な指導を行い、生徒の規範意識を高める。	①生徒アンケートにおいて、「久喜工高は遅刻防止指導に、計画的に取り組んでいる」と回答する生徒の割合が80%以上か。 ②生徒アンケートにおいて、「久喜工高は服装・頭髪などに、きちんと指導を行っている」と回答する生徒の割合が90%以上か。 ③生徒指導部や学年生徒指導担当による、組織的な対応により、指導件数が減少できたか。			
		個に応じた適切な支援と組織的な対応の充実	①スクールカウンセラーや巡回支援員等の外部教育力を効果的に活用し、個々の生徒への支援を充実させる。 ②特別支援委員会において、生徒情報を把握するとともに、教職員への必要な情報共有を図る。	①特別支援委員会が効果的かつ有効的に機能したか。 ①スクールカウンセラーや巡回支援員を有効的に活用し、個に応じた支援が適切に実施できたか。 ②教職員研修会を実施し、知識の向上が図れたか。			
3	【現状】 段階的な進路指導が行われているため、就職率・進学率100%を継続している。多くの生徒が、進路に対して高い意識を持っており、希望した進路に決定している。 【課題】 生徒の進路実現においては、今後も進路指導の充実を図っていく必要がある。進路指導部や学年の進路担当を中心に組織的な進路指導を継続的に実施する。	有意義な進路活動の実現と保護者との連携強化	①外部で行われる企業との情報交換会等に積極的に参加し、学年で情報共有を図る。 ②保護者と進路に対する更なる連携強化のため、PTA支部総会や進路研修会等において、最新の進路情報を提供する。	①本年度においても、就職率・進学率ともに100%を達成できたか。 ②保護者アンケートにおいて、保護者の進路情報提供に対する満足度が85%以上達成できたか。			
		段階的なキャリア教育の推進	①進路行事であるインターンシップ等を含めた段階的なキャリア教育をととして、生徒の進路意識を高め、個々の進路実現に繋げる。	①進路指導部や学年の進路担当が中心となり、段階的かつ組織的なキャリア教育が実施できたか。 ①生徒アンケートにおいて、各進路行事の満足度が85%以上達成できたか。			
4	【現状】 生徒募集に関しては、募集人員に満たしていない現状が続いている。学校説明会や進学フェア、学校HPやInstagram等で本校の強みを外部に発信している。 【課題】 工業高校ならではの強みや進路状況等を学校説明会や各種イベント等で継続的かつ積極的に発信していく必要がある。地域住民やより多くの中学生やその保護者に対して、より本校の魅力が伝わるような内容の充実も重要である。	本校の魅力発信に伴う効果的な広報活動	①学校説明会や進学フェア、また本校HPやInstagram等のSNSを活用し、本校の魅力を発信するとともに更なる充実を図る。	①HPの更新回数およびアクセス回数、またInstagramのフォロワー数が前年度より増加したか。 ①多くの方々にわかりやすく、効果的な内容であったか。			
		地域交流の推進と充実	①地域機関と積極的に連携・情報共有を図り、地域イベントや小中学校、児童センター等との交流事業を継続的にを行い、地域の期待に応える活動を実施する。 ②学校説明会や体験入学の日時や内容を見直し、多くの中学生や保護者が参加しやすい開催方法で実施する。	①地域機関と積極的に連携し、地域行事やイベント、小中学校や児童センター等と効果的な交流が図れたか。 ②生徒アンケートにおいて、「地域から良い学校だと評価されている」と回答する生徒の割合が80%以上か。			

学 校 関 係 者 評 価		
実 施 日	令 和	年 月 日
学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等		